

# 2018 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13813	科 名 ファッション流通専攻科ファッションデザイナー専攻	単 位	2 単位
科目コード 610000	科目名 ファッションプロデュース論	授業期間	通年

担当教員(代表)：阿部 泰祐	共同担当者：
----------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>プロデュースに必要な要素や技術、コンテンツの「構築（組立て方）」「発信（伝え方）」「検証（効果の測定方法）」を学びます。</p> <p>ファッションプロデュース業界の最前線から実例を交えながら講義し、社会に出てからすぐに役立つ実学となるよう努めます。</p>
--

<p>授業概要</p> <p>・ <u>テーマ概要</u></p> <p>大きく分類すると 3 つの項目になります。</p> <p>【1】＝理論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企画立案～構成～実施～結果検証方法論</li> <li>・ メディア論</li> </ul> <p>【2】＝情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ファッションプロデュース実例紹介</li> <li>・ プロデュース業界のトレンド紹介</li> </ul> <p>【3】＝演習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企画書作成演習</li> <li>・ プレゼンテーション演習</li> <li>・ インターン研修（ファッションイベント現場など）</li> </ul> <p>・ <u>学習方法</u></p> <p>アイデアの見つけ方からはじまり、企画構成の仕方、実施方法、その後の結果検証に至るまで綿密に学びます。プロデュース業務に関する全体像を「俯瞰」と「細部」の両観点から紐解きます。</p> <p>机上の空論では意味がないので、実際に存在するプロジェクトや具体的な企業・ブランド名を公表し、表面に見える部分だけではなく、裏側での仕掛けや思惑等も学ぶ機会を提供するよう努めます。（※守秘義務遵守が原則）</p> <p>大切な事は「自分を知る事」「相手を知る事」、そして柔軟な発想をもって「仕掛け」を構築する戦略及び戦術です。必要になるのは「人間にしか出来ない発想」つまり「人間力」が重要となります。（機械は活用するもの）</p> <p>本講義を通して、この重要なポイントに気が付き、ファッション業界で活躍する人材となるよう現在（最前線）を中心にしながら、過去（事例）や未来（予測）を交え、分かりやすく講義を展開します。</p>
---

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>提出物の評価及び出欠状況・取り組み意欲等の総合評価</p>
--

<p>主要教材図書</p> <p>弊社作成の資料</p>
<p>参考図書</p> <p>ファッションビジネスの魔力（朝日新聞社）</p>
<p>その他資料</p> <p>織研新聞、WWD 等</p>

<p>記載者署名欄</p>
---------------

# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13813	科名 ファッション流通専攻科 ファッションディレクター専攻	単 位	A 2 / B 2
科目コード	科目名 ファッションプロデュース演習 A/B	授業期間	A 前期 / B 後期
612001・612002			

担当教員(代表)：澤谷 目童	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）  
 ファッションプロデュース、クリエイティブディレクションについて学びながら、これまでの2年間の専門性をよりブラッシュアップし、自らの将来に向けたセルフプロデュースを実現していく  
 卒業研究創作（セルフプロデュース）に向けてテーマ設定、研究、創作、発表、検証まで

コマ	内 容	コマ	内 容
1	イベント運営を通じて、2年間で得た知識・技術を確認する。	28	企画書再検討 ブラッシュアップ
2		29	
3		30	
4	イベント企画～運営～検証	31	プレ卒展検討実施
5	卒展導入	32	
6	卒展 個人テーマ検討～決定	33	
7		34	
8		35	
9		36	
10		37	
11		38	卒展全体レイアウト検討 什器計画 告知ツール 検討制作
12		39	
13	卒展内容検討	40	
14	企画書制作	41	
15		42	
16		43	
17		44	
18		45	
19		46	
20		47	
21		48	

22		49	
23		50	
24		51	
25	企画書プレゼン	52	
26		53	
27			

評価方法・対象・比重

授業態度、進捗における点検、自己評価と発表後の他己評価      点数評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名   澤谷   目童

# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13813	科 名 ファッション流通専攻科ファッションディレクター専攻	単 位	2 単位
科目コード 609200	科目名 ファッションプロモーション	授業期間	通年

担当教員(代表)：菅原敬太	共同担当者：三島佑佳
---------------	------------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）  
 時代の空気に敏感で、人々のエモーショナルな部分を刺激して共感を産み出してきたのがファッション。  
 アパレル産業に限らず現代の様々な産業のプロモーションは、「一過性の話題作り」から人々の共感を産み出し「ライフ  
 タイムバリューを高めていく活動」へのシフトチェンジが始まっている。だからこそ、ファッション感覚をベースにし  
 たプロモーション術である「ファッショナブル プロモーション」がこれからのスタンダードになっていく。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション	16	プロデュース実践.C(設計)-2
2	ファッションについて考える.1	17	プロデュース実践.C(設計)-3
3	ファッションについて考える.2	18	プロデュース実践.C(設計)-4
4	ファッションについて考える.3	19	プロデュース実践.C(設計)-5
5	プランニング実践.1	20	特別講義
6	プランニング実践.2	21	プロデュース実践.D(準備)-1
7	プランニング実践.3	22	プロデュース実践.D(準備)-2
8	プランニング実践.4	23	プロデュース実践.E(運営)-1
9	プランニング実践.5	24	プロデュース実践.E(運営)-2
10	特別講義	25	プロデュース実践.E(運営)-3
11	プロデュース実践.A(企業調査)-1	26	プロデュース実践.F(検証)-1
12	プロデュース実践.B(企画)-1	27	プロデュース実践.F(検証)-2
13	プロデュース実践.B(企画)-2	28	プロデュース実践.G(報告)
14	プロデュース実践.B(企画)-3	29	
15	プロデュース実践.C(設計)-1	30	

評価方法 履修認定（P表示）
主要教材図書 なし
参考図書 なし
その他資料 なし

記載者氏名 菅原敬太

# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13813	科 名 ファッション流通専攻科 ファッションディレクター専攻	単 位	2 単位
科目コード 502300	科目名 カラープランニング	授業期間	通年

担当教員(代表)：桑野 恵美	共同担当者：
----------------	--------

## 教育目標・レベル設定など

色彩に関する知識や技術を、演習を中心に行いながらその活用方法を習得する。

色を意図して使うカラープランニングを学び、個人の企画もしくは卒業制作に応用する。

- 導入 カラープランニングにおける色彩の応用について  
テキスト『ファッション色彩Ⅰ』、『ファッション色彩Ⅱ』2. 3章 〈講義および演習 2 コマ〉
- ユニバーサルデザインにおける色彩(色の機能性)  
4章 視認性/誘目性 〈講義および演習 2 コマ〉
- 配色の応用 1 4章 「流行配色」とその他の配色(配色効果) カラーワーク③  
ナチュラル・コンプレックス/ピコ・トリコロール/色相分割 〈講義および演習 3 コマ〉
- 配色の応用 2・3 4章 色による季節感/ファッションイメージ(クラシック/ソフィスティケート/エレガント/エスニック/スポーティ/モダン)/色・柄によるイメージ  
色(配色)分析・発表 ②  
WEB、写真、ポスター、雑誌のページ、などの配色とその効果を分析  
雑誌タイトル色編集 ③  
色に関するキャッチコピーを考える④  
〈講義および演習 4 コマ〉
- 商品価値をあげる色の考え方 カラーバリエーション/色名  
4章 重ねの色目、日本の色名、ヨーロッパの色名(色名)  
商品カラープラン・色名を提案・発表 ⑤  
商品カラー展開色としての考え方を学ぶ  
定番色・トレンドカラーを提案し、  
商品として販売する場合のカラーネーム等(色名の活用)を考える。  
〈講義および演習 4 コマ〉
- 時代と色(流行色) 1章 時代と色 2020年のオリンピックイヤーにおける流行色を予想・発表⑥  
〈講義および演習 2 コマ〉
- 店舗と色彩 5章 空間の役割に応じた色使いを学び、陳列・演出に色を活用する方法を学ぶ。  
〈講義および演習 1 コマ〉
- ファッション産業と色彩  
5章 情報としての色彩のデータ化/生産段階における色彩/色彩管理  
〈講義および演習 4 コマ〉
- セルフプロデュースにおける色彩計画の実習 (卒業制作：他科目との連動。)  
5章 カラープランニングの流れ  
カラープランニングシート作成・プレゼンテーション⑦  
〈講義および演習 6 コマ〉

## 評価方法・対象・比重

① S～C・F評価 評価基準：学業評価 50% 授業姿勢 50%

主要教材図書『ファッション色彩Ⅱ』(文化出版局)

参考図書 JIS色名表 DIC色票(日本の伝統色・フランスの伝統色・中国の伝統色)

その他資料 ベーシックカラー140B5版、カラーチャート(1年時使用)

記載者書名欄 桑野恵美

# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務

科コード 13813	科 名 ファッション流通専攻科 ファッションディレクター専攻	単 位	2 単位
科目コード 605600	科目名 ビジュアルマーチャンダイジング	授業期間	前期・後期 (隔週)

担当教員(代表):秋山 裕美	共同担当者:
----------------	--------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

1 年間を通し 1 つのブランドを考察しプロモーションの VMD マップを制作、ファイリングするスキルアップを目指す

## 【授業計画】

コマ	内 容	コマ	内 容
1	VMD 概論…意味と目的を知る ショップ、ブランドを知る、顧客を知る	16	後期 プロモーションの VMD マップ制作 プロモーションの目的と効果
2	前期 ブランドリサーチ 各自ブランドを選び、そのブランドについて調べる ショップでの資料を集める、ネットで調べてまとめる	17	ブランディングによりさらに認知度をあげるしかけ、演出、セールスプロモーションのプランニング
3	ターゲットについて 年代 社会 ライフスタイルの傾向ターゲットイメージ画像	18	VP ディスプレイデザイン ディスプレイデザイン画の表現売場 什器平面レイアウト
4	ブランドについて 会社の概要 ブランドイメージと商品テイストロゴについてロゴの意味 意図 販促ツールサインについて 織ネーム 下げ札	19	プロモーションの場の設定 平面商品ゾーニング IP の陳列 PP の演出
5	2018 ブランドコンセプトと商品カラーについて 課題の提出	20	SP(販売促進ツール)のデザイン ダイレクトメール POP などプレゼンテーションと提出
6		21	
7		22	
8		23	
9		24	
10		25	
11		26	
12		27	
13		28	
14		29	
15		30	

## 【評価方法】

出席状況 50% 理解 50%

主要教材図書	ディスプレイ .VP.VMD（文化出版）マネキン、什器カタログインテリア関係本
参考図書	
その他資料	
記載者氏名	

# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13813	科 名 ファッションディレクター専攻	単 位	2単位
科目コード 615000	科目名 ショーイベントディレクション	授業期間	通年

担当教員(代表)：澤谷 目童	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）  
 学外コラボレーションをはじめ、学内外のファッションショーやイベントを通して、プロデューサーやディレクターを実体験する。  
 企画・実習・検証までトータルで学ぶ。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	ジャパンホビーショー（本番4月25-27）	16	靴下の日広告ビジュアル（本番11月11日）
2	BUNKA生涯学習まつり（本番5月12-13）	17	導入・企画・運営実習・検証
3	導入・企画・運営実習・検証	18	
4		19	
5		20	
6		21	
7		22	
8		23	新規案件予定
9		24	
10		25	
11		26	
12		27	
13		28	
14		29	
15		30	

## 評価方法・対象・比重

企画～検証を通して、出席率と取り組む態度、成果をトータルで評価 点数評価

## 主要教材図書

## 参考図書

## その他資料

記載者氏名 澤谷 目童



# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務

科コード 13813	科 名 ファッション流通専攻科 ファッションデパート専攻	単 位	2単位
科目コード 618000	科目名 ネットビジネス	授業期間	通年

担当教員(代表)：一般財団法人 ネットショップ能力認定機構 櫻木諒太	共同担当者：
------------------------------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）  
 ファッション業界に関わるインターネットビジネスの最新動向と今後の可能性を考察する。前半は、ファッションテック（ファッション業界におけるインターネットビジネス、ITを活用したサービス）の事例から、仕組みや課題を学び、業界・市場動向を理解する。後半は、ファッションテック業界におけるメディアにフォーカスし、SNS などのコミュニケーションプラットフォームを活用した情報発信を体験する。ファッションテック業界の全体像と情報発信に関する基礎知識の習得、重要性の理解を目標とする。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	インターネットビジネス動向 メディアや主力プレーヤー（企業）発表の調査統計データに基づく分析・考察	16	ファッション EC 優良サイト分析(2) プロモーション・キャンペーン最新動向、成功事例
2	ファッションテック業界研究 (1) ファッションテック業界研究	17	ファッション EC 消費者動向 ソーシャルメディア、スマートデバイスの普及、オムニチャネルとは
3	ファッションテック業界研究 (2) ファッションテック業界研究	18	ファッション EC 課題と展望 サイズ確認、試着対応、店舗連携、顧客管理※レポート発表
4	ファッションテック業界研究 (3) ファッションテック業界研究	19	ファッション EC 出店形態(1) ネットショップ開設サービス(ショッピングカート)解説、選定基準
5	情報発信基礎 (1) メディアの種類、情報発信の目的・注意点	20	ファッション EC 出店形態(2) ネットショップ無料開設(登録)方法出店登録・設定
6	情報発信基礎 (2) メディアの種類、情報発信の目的・注意点	21	ファッション EC 出店準備 ターゲティング、顧客ベネフィット(誰に何を買ってもらいたいか)
7	情報発信基礎 (3) メディアの種類、情報発信の目的・注意点	22	ファッション EC 制作(1) トップページ設定、デザイン編集
8	動画プロモーション (1) ターゲット、ツール、デザイン	23	ファッション EC 制作(2) 商品管理(登録、基本情報、写真)
9	動画プロモーション (2) 構図、シナリオ、動画配信方法	24	ファッション EC プロモーション ソーシャルメディア連携、ネット広告、動画活用
10	オウンドメディア (1) ソーシャルメディア連携 ファッションメディア事例、メディアサービス	25	ファッション EC 運用(1) 顧客対応、メール設定、問合せ対応
11	オウンドメディア (2) ソーシャルメディア連携 ファッションメディア事例、メディアサービス	26	ファッション EC 運用(2) 来訪者・サイト分析、目標設定、実行、分析/評価、改善サイクル
12	オウンドメディア (3) ソーシャルメディア連携 ファッションメディア事例、メディアサービス	27	ファッション EC プレゼンテーション
13	プレゼンテーション グループで制作した企画の発表	28	
14	ファッション EC 市場動向 総務省や主力プレーヤー（企業）発表の調査統計データに基づく分析・考察	29	
15	ファッション EC 優良サイト分析(1) ファッション EC 業界研究	30	

評価方法・対象・比重 \*比重は【】内に記載

評価対象① 出欠状況（学習姿勢・取り組み状況） 【4】

評価対象② ミニレポート発表×2 【3】

評価対象③ メディア企画および出店サイト発表 【3】

主要教材図書：ネットショップ検定公式テキスト(日本能率協会マネジメントセンター) ¥2800(税別) ※後期に使用予定
参考図書：
その他資料：各コマ(講師)別の補助資料、参考サイト・動画など

記載者氏名 一般財団法人ネットショップ能力認定機構 櫻木諒太
--------------------------------

# 2018 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13813	科 名 ファッション流通専攻科 ファッションディレクター専攻	単 位	1 単位
科目コード 503100	科目名 映像メディア	授業期間	第 2 時限(木曜日)

担当教員(代表)：(株)インファス・ドットコム 角倉 典彦	共同担当者：
-------------------------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）  
 ファッションに関する映像についての歴史と、ファッションショーを中心としたファッション動画映像を考察し、実践的に映像制作を行う上での基本知識と技術習得を目的とする。放送開始 30 年を超えた BS-Japan「ファッション通信」を主な題材に取り上げ、時には制作担当者も呼び制作過程の紹介を行なう。受講生が将来様々な映像メディア制作にかかわる際に、本講座がその一助となることを期待する。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	インターネットや携帯電話の発達とファッションメディア ユビキタスネット時代のメディアの在り方とデザイナー		
2	ファッションショーの成立の歴史的過程と演出についての考察/歴史的な流れの中で、デザイナーが誕生し、ファッション ショーが成立した過程/オールドスタイルのファッションショー		
3	ファッションショー成立の歴史的過程と演出についての考察2 さまざまな形態のショー/失敗したファッションショーの例		
4	ブランドマネージメント1/アルマーニのドキュメンタリー		
5	ブランドマネージメント2/片平秀貴元東大教授によるブラン ド成立の3要素		
6	ファッション番組の作り方/ 「ファッション通信」統括プロデューサーによる解説		
7	インターネット出現によるマーケティングの変化/ AIDMAからAISCEASへ実例を提示する		
8	映像制作概論1/番組制作の手順		
9	映像制作概論2/映像文法とモンタージュ理論		
10	ファッションジャーナリズム論考/川上系映像		
11	映像制作概論3/基本的映像制作技術		
12	映像制作概論4/「省略と強調」の理解と企画の重要性		
13	映像制作概論5/「他者の目線」の理解		

評価方法・対象・比重： 出席状況と課題レポート

主要教材図書

参考図書

その他資料 BS-Japan 「ファッション通信」/ファッション映像各種

記載者氏名 角倉 典彦

# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13813	科 名 ファッション流通専攻科 ファッションディレクター専攻	単 位	2 単位
科目コード 902800	科目名 美学	授業期間	通年

担当教員(代表)：五野井郁夫	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

本講義では美とは何か、芸術とは何かを美学の理論から講義し、受講生の皆さんと共に美の現在を考えていきます。「美しい」ことは必ずしも「芸術的」であるとは限らない現代芸術を読み解く力を身につけるべく、古典から現代までの各時代に特徴的な芸術作品の具体的な事例を通して「芸術」概念と人々の視座の変化を確認し、それがファッションにいかに応用されているのかも読み解きます。基本的に演習形式で講義を進めます。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション 美とは何か	16	複製技術の芸術2：映画
2	美的であることと芸術的であること	17	複製技術の芸術3：電子メディア
3	美的なファッション、芸術的なファッション	18	美とキュレーション
4	美のカテゴリーとレパートリー	19	ファッションによる美術の応用
5	カテゴリー化されたファッション	20	美とジェンダー
6	文化とよい趣味の配置	21	美とジェンダー論の応用1：コム・デ・ギャルソン
7	ファッションにおける文化と趣味の配置	22	美とジェンダー論の応用2： マルタン・マルジェラ
8	ストリート、かわいいの配置	23	美とジェンダー論の応用3：アレキサンダー・マックイーン
9	アートワールドとは何か	24	道徳と芸術1：正義と善
10	アートワールドとファッション	25	道徳と芸術2：ポルノグラフィ
11	古典、近代までの美術史	26	政治と芸術1：参加型アート
12	近代以降の美術史	27	政治と芸術2：ソーシャリー・エンゲージド・アート
13	20世紀以降の美術史1 ダダ、シュールレアリズムまで	28	政治と芸術の応用1：コム・デ・ギャルソン
14	20世紀以降の美術史2 抽象表現主義以降	29	政治と芸術の応用2：ヴェトモン、バレンシアガ
15	複製技術の芸術1：写真	30	政治と芸術の応用3：マリア・ グラツィア・キウリ

評価方法・対象・比重

実技 10%、課題 50%、プレゼンテーション 40%

主要教材図書 クレア・ビショップ『人工地獄 現代アートと観客の政治学』（フィルムアート社、2016 年）、ハル・フォスター『第一ポップ世代』（河出書房新社、2014 年）＊いずれも買わなくてよい

参考図書 講義毎に紹介する

その他資料 講義毎に紹介する

記載者氏名

# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13813	科 名 ファッション流通専攻科 ファッションディレクター専攻	単 位	1 単位
科目コード 616000	科目名 イベント実習	授業期間	通年

担当教員(代表)：澤谷 目童	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）  
 教室では学ぶことができない現場での実体験を通し、経験値を上げ、よりリアルな知識・技術の習得を目指す。  
 現場で起こる様々な予想しえない状況に、臨機応変に対応できる応対力・人間力の向上も目標とする。

学外コラボレーションを始め、学内外のファッションショーやイベントでの時間外（放課後、土日、長期休暇など）  
 実働時間を単位に反映する。

評価方法・対象・比重  
 P評価

主要教材図書

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 澤谷 目童

# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13813	科 名 ファッション流通専攻科 ファッションディレクター専攻	単 位	2 単位
科目コード 617000	科目名 アクセサリープロデュース演習（選択）	授業期間	通年

担当教員(代表)：中川 清美	共同担当者：
----------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>アクセサリーは服を引き立たせるための小道具である。新しい素材を取り込み時代性・オリジナリティーの高いアートアクセサリーの制作・服の制作・コーディネートヒントになることを目標とする。</p>
---

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p>	
<p>1. アートアクセサリー鑑賞レクチャー 参考作品の素材の説明とアイデア提案</p> <p>アートアクセサリーデザイン テーマ：紙粘土を使ったアートアクセサリー</p> <p>アクリル絵の具、助剤の特徴・扱い方・説明</p>	<p>8. アートアクセサリーデザイン テーマ：樹脂で作るアクセサリー 樹脂の特徴・扱い方・説明</p>
<p>2. アートアクセサリー制作実習 金属以外の物(紙・粘土・布etc...)に金属の腐食感を出す方法 中川作品鑑賞</p>	<p>9. 制作実習 アンティークボタン鑑賞</p>
<p>3. 制作実習</p>	<p>10. 制作実習 アンティークブレード鑑賞</p>
<p>4. 制作実習仕上げ</p>	<p>11. 制作実習 ヌーボーデコアクセサリー鑑賞</p>
<p>5. アートアクセサリーデザイン テーマ：卑金属・卑金属プラス異素材を使ったアクセサリー アメリカンフラワーの扱い方</p>	<p>12. 制作実習 イラスト写真鑑賞</p>
<p>6. アートアクセサリー制作実習 アジアのアクセサリー鑑賞</p>	<p>13. 仕上げ</p>
<p>7. アートアクセサリー制作実習</p>	<p>14. シルバー粘土の特徴と扱い方 リング リング、デザイン 制作実習</p>
	<p>15. 制作実習 仕上げ</p>

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>作品提出 70%・授業態度 20%・出席 10%</p>
---

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者書名欄
--------

# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13813	科 名 ファッション流通専攻科 ファッションディレクター専攻	単 位	1単位
科目コード 703700	科目名 メイクアップ（選択）	授業期間	前期

担当教員（代表）：夏目 幸恵	共同担当者：
----------------	--------

## 教育目標・レベル設定など

ファッションディレクターとしてヘア・メーキャップの技術と知識を学び、自己表現の可能性を広げる。

授業概要＝テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- |                  |   |   |
|------------------|---|---|
| ①作品テーマ案決め（2テーマ）  | × | 2 |
| ②作品制作Ⅰ準備・リハーサル   | × | 2 |
| ③作品制作Ⅰフォトシューティング | × | 2 |
| ④作品制作Ⅱ準備・リハーサル   | × | 2 |
| ⑤作品制作Ⅱフォトシューティング | × | 2 |
| ⑥作品まとめ           | × | 2 |
| ⑦プレゼンテーション       | × | 2 |

2コマ × 14回

## 評価方法・対象・比重

学業評価 90% 授業態度 10%

## 主要教材図書

## 参考図書

## その他資料

記載者書名欄 夏目 幸恵

# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13813	科 名	ファッション流通専攻科 ファッションデザイナー専攻	単 位	1 単位
科目コード 300400	科目名	レザークラフト（選択）	授業期間	（ 後期 ）

担当教員（代表）： 角森 智至	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

授業目的:モノ作りの経験を通して製品が出来上がるまでの工程と製品の価値について学ぶ。

製品価格や製品原価率がどのように構成されているのかを知り、正しい捉え方を学ぶ事で本当の意味で品質が高く、付加価値の高い製品とはどのような物なのか、どのように生み出す事が本質的に正しいのか、生徒なりの考えを醸成する事で自身のディレクション業務に活かせる視点を持たせる。

## 1. レザートートバッグ

16 コマ

制作実技

評価方法・対象・比重

S～C・F評価

評価基準： 学業評価 80% 、授業姿勢 20%

主要教材図書

なし

参考図書

その他資料

記載者氏名 角森 智至



# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13813	科 名 ファッション流通専攻科 ファッションディレクター専攻	単 位	1 単位
科目コード 502400	科目名 パーソナルカラー実践・演習（選択）	授業期間	前期

担当教員（代表）：大串 由美子	共同担当者：－
-----------------	---------

## 教育目標・レベル設定など （＊色彩活用パーソナルカラー検定2級、さらには1級に対応できる内容）

1・2年次の色彩学・パーソナルカラー理論をベースに、ファッションビジネスの現場で実践できるパーソナルカラーコンサルティング、カラー戦略としてパーソナルカラーをビジネスに活用する手法を習得する。似合う色を分析するドレーピング、クライアントとのコミュニケーションスキル、アドバイスシート・プランニングシートの作成等を通して「コンサルティング力（対応・分析・提案）」「プランニング力（企画・提案）」を磨くことを目標とする。

**授業概要**＝テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

### ◆ オリエンテーション（1コマ）

- ・授業の目的・内容・進め方 / 習得目標スキル / 資格取得の意義（色彩活用パーソナルカラー検定2級・1級）
- ・パーソナルカラーの全体像および本来の目的・意味
- ・ファッションビジネスへのパーソナルカラーの活用方法や展開方法 / 活用事例

### ◆ パーソナルカラー概論（2コマ）

- ・パーソナルカラー（似合う色）の定義
- ・パーソナルカラーの色分類とイメージ / 色の見分け方（色感）
- ・色素と似合う色の関係性（色の三属性でとらえる考え方） / 色素確認と似合う色の予想
- ・「パーソナルアイデンティティ（自分らしさ）」の確立と「自分ブランディング（外見と内面の自己実現）」

### ◆ コンサルティング実習（4コマ）

- ・分析理論 / コミュニケーションに活かすドレーピング方法
- ・ドレーピング実践
- ・パーソナルカラーをテーマにしたコンサルティングの理論・手法
- ・プロフィールの読み込み・コンセプト立案・配色提案（自分ブランディング提案）
- ・提案資料（アドバイスシート）の作成・発表

### ◆ ファッションビジネスへの活用（6コマ）

- ・パーソナルカラーを他者に説明する（定義・色分類・イメージワード・色素と似合う色の関係）
- ・説明ツールの作成・発表
- ・パーソナルカラーのビジネス展開の可能性を考える（商品・VMD・サービス等への活用方法）
- ・カラー戦略としてパーソナルカラーを活用する手法とその体験 → 企画書の作成
- ・プレゼンテーション（企画の発表）

評価方法・対象・比重

① S～C・F 評価

学業評価 50%（課題作品の評価・授業内での応答） 授業姿勢 50%（出席状況・課題提出状況・取り組み）

主要教材図書：「パーソナルカラー検定公式テキスト3級」日本カラーコーディネーター協会

参考図書 なし

その他資料 プリント教材、カラーカード

記載者書名欄 大串 由美子

# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13813	科 名 ファッション流通専攻科 ファッションデザイナー専攻	単 位	2 単位
科目コード 100700	科目名 アパレル演習（選択）	授業期間	通年

担当教員(代表)：澤谷 目童	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

素材・デザインを問わず、各々のスキルに合わせてテーマを決め自由作品を製作する。

前期 1 作品以上、後期 1 作品以上

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション デザイン相談	16	作図、パターン制作
2	作図、パターン制作	17	裁断、印しつけ
3	裁断、印しつけ	18	本縫い
4	本縫い	19	
5		20	
6		21	
7		22	
8		23	
9		24	
10		25	
11		26	
12		27	
13		28	提出、発表会
14	提出、発表会		
15	デザイン相談		

評価方法・対象・比重

授業態度 点検 発表会 トータルで評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 澤谷 目童

# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13813	科 名 ファッション流通専攻科 ファッションディレクター専攻	単 位	1 単位
科目コード 200200	科目名 アパレル染色演習（選択）	授業期間	後期

担当教員（代表）：伊藤 望	共同担当者：
---------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

各種の染色技法を実習することにより、染色・加工の観点からテキスタイルについて理解を深める。

あわせて染色・加工品の商品知識を広げ、各自が研究および創作する関連課題の企画・制作力の強化につなげていく。

1. ガイダンスおよび染色概論 ・ 授業内容について ・ 主な染料の種類と特徴 ・ 染料と繊維の染色適性 ・ 染料と繊維の結合と染着過程	(1 コマ)	(講義)
2. 直接染料による浸染 ・ 直接染料の特徴 ・ 直接染料による浸染法	(1 コマ)	(実習)
3. マーブル染め ・ マーブリングインクによるマーブル染めの方法 ・ 台液に水を使用する方法と台液に糊を使用する方法	(1 コマ)	(講義・実習)
4. 乾式転写プリント ・ 分散染料による乾式転写プリントの仕組み ・ 手描き図案による転写方法	(1 コマ)	(講義・実習)
5. デジタルプリント ・ デジタルプリントの仕組み ・ 機器の使用方法 ・ インクジェットプリントの作業工程	(2 コマ)	(講義・実習)
6. 顔料樹脂染料によるスクリーンプリント ・ スクリーンプリントの仕組み ・ 機械捺染の種類と版式 ・ 顔料樹脂染料の特徴と染料との比較 ・ スクリーン製版と顔料の印捺方法 ・ 仕上げ工程 ・ 特殊プリント加工	(3 コマ)	(講義・実習)
7. デニム生地 of 抜染 ・ プリントによる抜染の仕組み ・ 抜染プリントの特徴	(1 コマ)	(講義・実習)
8. 染色工場見学 ・ 商業染色における生産工程 ・ 設備や使用機器の見学	(2 コマ)	(講義・実習)
9. オパール加工 ・ オパール加工の仕組みと適性繊維 ・ オパール糊の印捺方法とベーキングの方法	(2 コマ)	(講義・実習)

評価方法・対象・比重

学業評価 70%、授業姿勢 30%

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座③アパレル染色論 文化服装学院編 文化出版局

参考図書

その他資料

記載者氏名 伊藤 望

# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13813	科 名 ファッション流通専攻科 ファッションディレクター専攻	単 位	1 単位
科目コード 504200	科目名 パソコン演習 (選択)	授業期間	前期 (13 コマ)

担当教員 (代表) : 松尾 一弘	共同担当者 :
-------------------	---------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション産業におけるグラフィックの役割と有効性を理解し、グラフィックソフトを使う能力をより高め、同時にsns等のフィード型広告に対応した広告媒体の新しいアプローチを構築する。

使用ソフト Adobe Illustrator / Adobe Photoshop

## 【授業計画】

コマ	内 容	コマ	内 容
1	イントロダクション WinとMacの違いと互いの特徴、授業内容説明	16	
2	Photoshop1 (パネル、ツール、写真補正)	17	
3	Photoshop2 (切り抜き、レイヤーマスク、文字、合成)	18	
4	Illustrator1 (フォントからブランドロゴへの展開)	19	
5	Illustrator1 (フォントからブランドロゴへの展開)	20	
6	練習1 シネマグラフィ (撮影、編集)	21	
7	練習1 シネマグラフィ (編集)	22	
8	課題1 シネマグラフィ (撮影)	23	
9	課題1 シネマグラフィ (Photoshop編集) 制作	24	
10	課題1 シネマグラフィ (Photoshop編集) 制作	25	
11	課題1 シネマグラフィ (Photoshop編集) 制作	26	
12	課題1 シネマグラフィ (Photoshop編集) 制作	27	
13	課題1 シネマグラフィ (Photoshop編集) 制作 提出	28	
14		29	
15		30	

## 【評価方法】

S~C・F評価 学業70% 授業姿勢30%

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 筆記用具、USB フラッシュメモリ、作例

記載者氏名 松尾一弘

# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13813	科 名 ファッション流通専攻科 ファッションディレクター専攻	単 位	2単位
科目コード 507000	科目名 アート&デザイン（選択）	授業期間	通年（ ）

担当教員（代表）：酒井英実

共同担当者：

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

アートとデザインでは基本的な方向やコンセプトは異なるが、表現上のボーダーはない。授業においては両者の枠をこえて、様々な表現で、柔軟な発想と表現を広く体験させる。適切な題材の選択で、表現するうえで大切な気持ちを喚起するようこころがける。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション	16	プラスチック造形 2
2	紙の造形	17	プラスチック造形 2
3	プラスチック造形基礎	18	プラスチック造形 2
4	鑑賞	19	アクリルドローイング
5	紙の造形	20	エアブラシ表現
6	ボンド技法	21	立体表現(発泡スチロール)
7	速写をする	22	応用表現
8	風景画	23	〃
9	画材1. パステル技法	24	〃
10	〃	25	〃
11	画材2. 水墨表現	26	美術展鑑賞(詳細未定)
12	画材3. 水彩基礎技法	27	修了制作
13	画材4. 水彩 特殊技法	28	修了制作
14	プラスチック造形の経験	29	まとめ
15	〃	30	

評価方法・対象・比重 出席状況 20%、授業態度・過程 30%、提出内容 50%	
主要教材図書	特になし
参考図書	特になし
その他資料	

# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13813	科 名 ファッション流通専攻科 ファッションディレクター専攻	単 位	1 単位
科目コード 904520	科目名 キャリア開発Ⅱ	授業期間	前期

担当教員(代表)： 二上 武生	共同担当者：
-----------------	--------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

学生が就職を志望する先に内定するために必要な「就職力」を講義＋実習を通して身につけさせる

## 【授業計画】

1. 授業全体像・ねらい・・・・・・・・・・・・・・・・・・（講義・実習）＜1コマ＞
2. 文章表現／就職活動の動き方・・・・・・・・・・・・（講義・実習）＜2コマ＞
3. エントリーシート・面接対策／会社研究・・・・・・・・（講義・実習）＜1コマ＞
4. ビジネスマナー／企業説明会対策・・・・・・・・・・・・（講義・実習）＜2コマ＞
  - ・身だしなみ／立居振舞い
  - ・電話とメールのマナー／言葉遣い／職場のマナー／訪問のマナー
5. 履歴書／エントリーシート対策・・・・・・・・・・・・（講義・実習）＜1コマ＞
6. 仕事研究／文章表現・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（講義・実習）＜1コマ＞
7. プレゼンテーション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（講義・実習）＜1コマ＞
8. 自己分析／文章表現・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（講義・実習）＜1コマ＞
9. コミュニケーション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（講義・実習）＜2コマ＞
  - ・面接対策
  - ・グループディスカッション対策
10. 授業総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（講義・実習）＜1コマ＞

## 【評価方法】

出欠席、受講態度、実習（面接練習、グループディスカッション練習、プレゼンテーション練習）参画度

## 主要教材図書

「就職対策」（キャリア支援室）

参考図書 特になし

その他資料 随時配布

記載者氏名 二上 武生

# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13813	科 名 ファッション流通専攻科 ファッションディレクター専攻	単 位	1～4単位
科目コード 945500	科目名 インターンシップ 1t. 2t. 3t. 4t (自由選択)	授業期間	通年

担当教員(代表)：澤谷 目童	共同担当者：
----------------	--------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

ファッションディレクター専攻のカリキュラム内容に即した実践学習の場とし、社会人としての規範や厳しさの体験、専門職業人を目指す者としての自覚を目的とする。

## ・実習先の開拓

原則、自ら開拓し実習に臨む

## ・インターン期間

受け入れ可能な時期で、最長12日間(休憩を除く実働時間8時間/1日)まで

## ・インターン実習 単位換算時間

1単位：(科目コード 945500) 1.5時間×15コマ=22.5時間

2単位：(科目コード 945600) 1.5時間×30コマ=45時間

3単位：(科目コード 945700) 1.5時間×45コマ=67.5時間

4単位：(科目コード 945800) 1.5時間×60コマ=90時間 (±3時間)

## ・結果報告とまとめ

実習先企業より記録票・評価表提出いただき、単位換算

評価方法・対象・比重

出席率

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 澤谷 目童



# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13813	科 名 ファッション流通専攻科 ファッションディレクター専攻	単 位	1単位
科目コード 980030	科目名 特別講義Ⅲ	授業期間	通年

担当教員(代表)： 澤谷 目童	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）  
 それぞれの専門分野の第一線の外部講師を招聘し、現状を理解させ、ダイレクトに現実を受け止める。  
 また、学内外の博物館、企画展示見学を通し、ファッション分野を幅広く理解させる。

1. 特別講義
  - ファッション企業の改革 8回
  - J∞QUALITYブランディング
  - イベント企画
  - 商品企画 プレゼンテーション
  - セルフブランディング
  - クラウドファンディング
2. 校外授業
  - 学内外展覧会見学

評価方法・対象・比重
出席状況・レポート、P評価
主要教材図書 なし
参考図書 なし
その他資料 なし

記載者氏名 澤谷 目童

# 2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13813	科 名 ファッション流通専攻科 ファッションディレクター専攻	単 位	4 単位
科目コード 971000	科目名 卒業研究創作	授業期間	半期（後期）

担当教員(代表)：澤谷 目童	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）  
 卒業研究創作テーマ：セルフプロデュースにおいて、各自の発表のための準備実働時間。  
 他者に思いが伝わることにポイントを置き、3年間の集大成として展示・発表する。

コマ	内 容	コマ	内 容
1		16	
2		17	
3		18	
4		19	
5		20	
6		21	
7		22	
8		23	
9		24	
10		25	
11		26	
12		27	
13		28	
14		29	
15		30	

評価方法・対象・比重

準備態度 クオリティ 他者評価 出席日数 点数評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 澤谷 目童